

# 佐賀県の概要

佐賀県は九州の北西部に位置し、東は福岡県、西は長崎県に接しています。北は玄界灘に面し、南には有明海に接した肥沃な佐賀平野が広がっています。世界的に有名な陶磁器、温泉やお祭りなど伝統ある文化が魅力的な県です。

面積は、約 2,400 平方キロメートル、10 市 10 町で構成され、人口は約 80 万人（2022 年 10 月推計人口）となっています。

県内には 5 つの二次医療圏があり、国が指定する都道府県がん診療連携拠点病院が 1 施設、地域がん診療連携拠点病院が 3 施設整備されています。

## 現状と課題

地域がん登録時代は、県外施設も含め約 40 施設から、年間約 7,000 件の自主届出がありました。全国がん登録開始後は、県内約 80 施設から、年間約 11,000 件の自主届出を受け付けています。住所異動確認調査や遡り調査等の全国がん登録業務に加え、地域がん登録症例に対する生存確認調査等も毎年実施しています。

現在、実務者 3 名（うち 2 名は院内がん登録業務と兼務）で登録業務を行っていますが、届出医療機関への照会、エラー修正に時間を要している状況です。県と大学病院が共同で研修会や e ラーニングを運営していますが、日々の業務の都合等により参加できない施設への情報発信が課題であると考えています。そこで、昨年度、初めて県内医療機関向けの手引書を作成し配布しました。今年度は届出の依頼と併せて、特に誤選択の多い項目についての補足説明を配布しました。今後も、届出施設の皆様に、全国がん登録への理解を深めていただけるような情報を発信し、質の高いがん登録データの収集・登録に努め、がん対策の推進に寄与していきたいと考えています。

# 佐賀県のがん対策

佐賀県では、がんは 1978 年に死亡原因の第 1 位となり、その後も増加を続け、2021 年のがんによる死亡者数は 2,674 人と、総死亡者数（10,145 人）の約 26% を占めています。

このため、がん対策を総合的かつ計画的に推進するため、2008 年に「佐賀県がん対策推進計画」を策定しました。その後、状況の変化等を勘案しながら、2013 年に第 2 次計画、2018 年に第 3 次計画を策定しています。

特に肝臓がんは、医療機関が連携して予防からフォローアップまで、5 つのステップごとに支援する対策により、1999 年から 19 年間続いていた全国ワースト 1 位から脱却することができました。

## 佐賀県のがん登録事業

佐賀県のがん登録は、1973 年「悪性新生物実態調査」に始まり、その後は老人保健法制定に伴い 1984 年に「佐賀県がん登録事業」に移行しました。1995 年に旧データベース（旧 DBS）が開発され、2011 年に標準 DBS を導入、2016 年に全国がん登録システムへ移行するまで、旧 DBS と併用稼働していました。その間、がん登録の精度向上に向けた罹患情報の収集に取り組み、「がん罹患・死亡動向の実態調査に関する研究」班や IACR「5 大陸のがん罹患」等へのデータ提出も行ってきました。

登録室は、佐賀医科大学（現：佐賀大学医学部）から佐賀県総合保健協会へと移転し、さらに 2015 年からは、地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館が県からの委託を受け、佐賀県がん登録室としての業務を引き継いでいます。

## 最後に

今後は、各都道府県がん登録室様の取り組みを参考にさせていただき、精度向上・円滑な全国がん登録業務に努めたいと思っております。

皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



佐賀県子育て応援キャラクター さがっぴい